

議員派遣結果報告書

令和7年第2回上富良野町議会定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告します。

令和7年9月10日

上富良野町議会議長 中澤 良 隆 様

議会運営委員会
委員長 米澤 義英

記

件名1 北海道町村議会議長会主催の議員研修会及び先進地調査

1 調査及び研修の経過

令和7年7月8日、北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会に12名の議員が出席し、7月9日に千歳市防災学習交流施設の視察調査を行った。

2 調査及び研修の結果

(1) 議員研修会「北海道町村議会議員研修会」(札幌市：札幌コンベンションセンター)

本研修会は、全道144町村の町村議員が一堂に会する研修会として開催され、次の講演を聴講し今後の活動の参考となった。

講演① 西南学院大学法学部教授 勢一 智子（せいいちともこ）氏より、「地方議会における議員の多彩化に向けて-地域社会の「鏡」としての議会を考える-」と題して、「人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの」「住民自治の危機」「地域社会の鏡としての地方議会とは」「第33次地方制度調査会-多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」「地方自治法改正の意義」「時代に求められる地方議会に向けて」の視点に沿い講演が進められ、若者が議員になりたいと思える社会であるかの問い合わせに対して、社会の現状から変革の必要性などについて講演された。

講演② 人口戦略会議副議長 増田 寛也（ますだひろや）氏より、「人口減少社会を生き抜くために」と題して、「地方創生2.0基本構想の概要と好事例の普遍化」「北海道総合開発計画の事例」等の資料が示され、町村業務の見直しを行い中身の濃い事業を行う必要性、広域市町村連携など地方で行われ

ているモデル事業を確立させること、関係人口に対し魅力ある資源資産の確立等これから時代に合った政策を行う必要性、地方の良さを活かし不足するところを補完しあいながら人口減少社会に対応することが必要などについて講演された。

(2) 先進地調査「千歳市防災学習交流センターそなえーる」(千歳市：防災学習交流施設)

視察した本施設の概要等は次のとおり。

① 千歳市防災学習交流施設は、防衛省の民生安定事業「まちづくり構想策定支援事業」補助を活用し、平成22年4月24日に「そなえーる」開設、平成23年に「防災の森」が開設。総事業費約21億円で国庫補助75%と起債等25%。総面積約8.4ha、A・B・Cの3つのゾーンで構成。

② Aゾーン「そなえーる」は広さ約4.3ha、3階建て延べ面積約2,300m²の防災学習交流センターと、広さ約2.4haの屋外訓練場、ロープ訓練棟、防災備蓄倉庫を兼ねた副訓練棟、常設ヘリポートなどを完備。災害を「学ぶ、体験する、備える」をテーマに、災害の疑似体験、防災学習を通じて防災に対する意識を高めてもらうことを目的に、起震装置、煙避難装置、予防実験装置、避難器具の展示などを備える。

Bゾーン「学びの広場」は広さ1.1ha。造成に伴う雨水調整池と、消火体験や救出体験を通して自助・共助を学ぶ広場。

Cゾーン「防災の森」は広さ3.0ha。約150人がキャンプに利用できる「野営生活訓練広場」、湧き水を利用した「河川災害訓練広場」「土のう訓練広場」、アスレチック遊具などの「サバイバル訓練広場」、管理棟を配置し、共同作業が体験できる。

③ 施設の管理運営は、再任用職員1名、会計年度職員7名の8名体制で、施設の維持管理、説明案内等を行う。5~10月はCゾーン運営のため会計年度職員3名を配置。夜間管理は警備会社に委託。

④ 施設の利用状況は、開設当初は5万人近くが利用、ここ近年は2万人ほどが利用。千歳市総合防災訓練、町内会・自主防災組織等の防災訓練、救急講習会、市民防災講座、事業所等の防災関連講座、防災イベントなどの事業を展開。

⑤まとめ

本施設「そなえーる」では、震度7までの疑似震災体験ができ、トラッキングによる火災発生のメカニズムの実験や、煙から非難するための訓練室に加えて2階以上の高さから地上に安全に降りるための避難梯子の実施が出来る体育館などを有しており、消防大会等の会場にも広場の開放を行い、地域住民への防災啓

蒙活動ではお祭り等を開催している。実際に災害が発生したときのための災害用品の備蓄基地ではなく災害対策本部としての機能を持たせる施設として成り立っている。当町も活火山十勝岳を有する自治体として、災害時の対策本部機能を持った施設の充実や、災害学習体験等が行える施設の必要性などを感じ取る有意義な視察となった。

件名 2 議会懇談会

(1) 開催の目的

議会は、上富良野町自治基本条例第 10 条、第 11 条及び第 12 条の規定に基づき、町民の意思を町政に反映させることが責務となっている。そのため町民の方々と直接懇談し、議会の報告や行政課題等について懇談を行った。

(2) 開催日 令和 7 年 7 月 16 日(水) 1 日間

(3) 会 場 公民館大ホール

(4) 対象団体及び参加人数 民生児童委員協議会 24 人

(5) 出席議員数 13 人

(6) 懇談内容等

「高齢者支援について」「人口減少対策について」をテーマに 4 つのグループに分かれて懇談を行った。また、民生児童委員の活動について意見を交わした。

懇談では、高齢社会における地域で生活し続けていくために、福祉・医療サービスの継続と充実、介護士等の人材の確保、高齢社会を支える人のつながりについて話された。また、人口減少が進む町の活性化に関して、働く場所の確保、子育て支援の充実、交流イベントの充実などについて話された。

民生児童委員の活動に関しては、地域の活動に共に参加し、地域の実情に理解を深めていくことが大切であることなどが話された。

(7) まとめ

地域の方々に日頃から寄り添い活動を進められている民生児童委員協議会の皆さんと、昨今の重要なテーマについて懇談を行い、地域住民の皆さんのが抱える思いや課題などについて意見を交わすことができ大変有意義な懇談となった。様々な意見・提言をいただき、今後の議会活動、議員活動の中で反映させることとし、大いに参考となった。